

## 令和6年度 第1回 砂川市小中一貫教育推進委員会 会議記録

○日 時 令和6年4月30日(火) 16:00～16:51 (所要時間=51分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 12人

【教育委員会】 6人

【事務局】 5人

○傍聴者 なし

○議事記録

1. 開 会

2. 委嘱書交付

3. 挨拶 教育委員会教育長

4. 会長及び副会長の選出

【会 長】神島亘基委員 (豊沼小学校 校長)

【副会長】樽石哲也委員 (中央小学校 教頭)

5. 報告事項

- (1) これまでの経過について
- (2) 砂川市小中一貫教育推進委員会について
- (3) ワーキンググループの体制について
- (4) 令和6年度砂川市小中一貫教育推進計画について
- (5) 小中一貫教育全国連絡協議会への入会について
- (6) 令和6年度「学校種間連携サポート事業」の指定について

【議事の内容 (要旨)】

事務局 (1) これまでの経過について  
議案の1ページには、これまでの経過をまとめており、平成30年度から小中学校の適正規模・適正配置の検討開始と併せて小中一貫教育も検討されてきたことなど、現在までの経過が書かれています。小中一貫教育に関しては、令和3年6月に「砂川市立小中学校統合準備委員会」と「砂川市小中一貫教育推進委員会」を設置して、令和5年度の中学校統合、令和8年度の義務教育学校開校、小中一貫教育の導入・推進に関する協議を進めてきました。砂川市小中一貫教育推進委員会の取組としては、小中学校の教員による4つの特別部会を設置して、令和5年度に策定し

た「砂川市小中一貫教育推進計画」などに基づき、5校交流会や合同遠足、中学校教員による乗り入れ授業などを実施するとともに、「砂川市小中一貫教育の目指す姿」や「砂川市立小学校『学習スタンダード』」、小学校における各教科の年間指導計画、市内統一版「家庭学習の手引き」、砂川版「キャリア・パスポート」などの作成を進めてきました。

#### (2) 砂川市小中一貫教育推進委員会について

事務局

「砂川市小中一貫教育推進委員会」は、小中学校の校長先生、教頭先生、教育委員会が必要と認める方として、砂川高校の校長先生にもご就任いただき協議を進めており、今年度から5つのワーキンググループを設置して、具体的な協議や行事を進めることとしています。「砂川市立小中学校統合準備委員会」は、学校統合に向けて、学校名、校歌、校章、スクールバスなどについても協議を進めています。

#### (3) ワーキンググループの体制について

事務局

「ワーキンググループの体制について」は、校長先生・教頭先生にアドバイザーやグループ長に就いていただき、各校から推薦をいただいた教員の皆さんで構成します。また、具体的な取り組みは協議事項で提案します。

#### (4) 令和6年度砂川市小中一貫教育推進計画について

事務局

「令和6年度砂川市小中一貫教育推進計画について」は、昨年4月に令和5年度版として初めて策定しましたが、この度、令和6年度版を策定しました。考え方は、令和5年度版と基本的な方針を同様としながら、一部に新たな内容や令和6年度取組を加えるなどして策定し、3月に開催した推進委員会で確認され、4月17日の教育委員会会議で最終決定しました。1ページに「策定にあたって」と題して、どのような計画か記載しており、令和4年4月に策定した「砂川市義務教育学校基本構想」を踏まえて、砂川市として小中一貫教育実現のためにすべきことと、より発展的な小中一貫教育を行うための考え方を明らかにした計画を策定したこと、そして、今年度からは5つのワーキンググループで取り組みの深化・充実を図りながら、令和7年度から小中一貫教育を本格的に実施していくための道筋を描くこと、などについて記載しています。2ページからは、「小中一貫教育の目的」や「砂川市が考える小中一貫教育」として、義務教育9年間を4年・3年・2年の3つのステージに分けることなどが書かれています。4ページからは、「(1) 教育理念、目指す児童生徒像、育成を目指す資質・能力」について書かれており、その中でも「育成を目指す資質・能力」は、昨年、小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒や、今年度就学した児童の保護者を対象にアンケート調査を行った結果をもとに設定したものです。5ページからは、「(2) 小中一貫教育の基本的な教育方針」を列挙しており、7ページには、「小中一貫教育の実践内容」を、8ページには、2ページから7ページまでの内容をまとめた全体構想図を示しています。9ページからは、「小中一貫教育推進の年次計画」として、令和8年度に義務教育学校がスムーズに開校できるように、令和5年度から令和7年度までの3年間で取り組む具体的な実践内容を整理しています。10ページからは、「令和6年度砂川市小中一貫教育推進の重点」として、今年度、特に重点的に取り組むべき事業を箇条書きにしてお

り、「(1) 基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析」では、「全国学力学習状況調査結果の公表」など8項目、「(2) 砂川市GIGAスクール構想の推進」では、「一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用」など3項目、「(3) 不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止」では、「小中連携した児童・生徒の情報共有」など3項目、「(4) 幼保・小中の連携」では、「小学校連携、小中連携の事業の実施」など4項目、「(5) ふるさと砂川を誇りに思う心の育成」では、「9年間を見通した『キャリア・パスポート』の運用・改善」など2項目が、今年度、全ての学校で取り組む重点となります。

#### (5) 小中一貫教育全国連絡協議会への入会について

事務局

今年度から砂川市教育委員会として「小中一貫教育全国連絡協議会」という協議会に加入しました。どのような協議会か、加入案内に記載されている設立の趣旨を抜粋しますと「全国で小中一貫教育、小中一貫校の研究・開発に取り組む自治体、学校、個人、企業が情報を交換し、さらに研究・実践を深化させるために、平成18年4月に既に小中一貫教育に取り組む京都市、奈良市、呉市、品川区の4つの自治体を発起人として設立いたしました。」という協議会になります。主な事業を4項目載せていますが、メインとして「小中一貫教育全国サミット」があり、毎年、会員となっている市区町村のどこかで開催され、今年は広島県の府中市で9月下旬に開催されます。教育委員会は正会員に位置付けられ、53の教育委員会が加入しています。北海道内では4市の教育委員会が加入しています。

#### (6) 令和6年度「学校種間連携サポート事業」の指定について

事務局

「子どもたちの未来を拓く」学びのトランスフォーメーション推進事業『学校種間連携サポート事業』は、昨年度、本市において、砂川小学校と砂川中学校を準備校にいただき、取組を進めてきた事業になり、今年度は市内全校の小中学校がこの事業の準備校となりますので、議案に記載の内容に取り組んでいくこととなります。本事業は、このあと説明する各ワーキンググループの取組を着実に推進させていくことで、ねらいを達成できるものとなっていますが、その他特徴的な取組としては、「学園ネットワークコミュニティ(がくえんねっとプラス)」に参加するというものがあります。「がくえんねっとプラス」は、年に数回行われる「つながる」と、年に1回開催される「がくえんねっとプラスセミナー」がありますが、それぞれの学校の代表1名がオンラインにより情報交流を行うものになります。準備校に対して、ホスト校というものがあり、去年は他市の義務教育学校が砂川市のホスト校になり、先進的な取組や義務教育学校を設立するにあたっての留意点等をアドバイスしていただけたという内容でしたので、これに参加することで具体的な統合、または、義務教育学校開校に向けた取組の軌道修正等に役立つこととなります。議案に、教育局に提出した本事業に係わる申請書と計画書、それから決定通知を記載していますが、今年度は、市内すべての小中学校が本事業に参画しながら小中一貫教育を推進していくこととなります。また、標記事業は、年に4回進捗状況の進行管理シートを提出することとなっていますが、進行管理シートは事務局が作成し、各学校に内容の確認をいただき、提出しますので、本事業の推進に係わり、各学校に大きな負担がかからないようにしています。

会長	質問等ありませんか。
委員	学校種間連携サポート事業に係わってですが、別記第3号様式の事業実施計画書の中で「(2) 取組の具体的内容」の「・」の3つ目「年間複数回小学6年生で実施」という記載がありますが、本校に加配教員を措置してもらうための「中学校教員が小学校に乗り入れて、各学校で年間70時間授業を行う」という計画との兼ね合いから計画変更の可能性もあると思うのですが、そこは大丈夫なのでしょうか。
会長	事務局、お願いします。
事務局	現在小学校5年生の外国語科において、中学校教員に乗り入れていただいて、各学校で年間70時間授業を実施する計画ですが、小学校6年生は、去年と同様に中学校に出向いて、英語以外の授業を2時間程度体験することを想定した記載となっています。去年は5年生も中学校に出向いて授業を1時間体験しましたが、今年度、5年生は毎週乗り入れ授業を実施しているので、中学校に出向いて授業を体験することは想定していません。

## 6. 協議事項

### (1) 令和6年度砂川市小中一貫教育推進委員会各ワーキンググループの業務について

#### 【議事の内容（要旨）】

事務局	<p>(1) 令和6年度砂川市小中一貫教育推進委員会各ワーキンググループの業務について</p> <p>「令和6年度砂川市小中一貫教育推進委員会 各ワーキンググループ」が、今年度、取り組む業務内容につきまして、昨年度の取組の成果と課題、各ワーキンググループのねらいや取組のゴールと併せて説明します。別添6の1ページ、「令和5年度の取組について」は、昨年度まで砂川市小中一貫教育推進委員会に4つの部会が設置され、それぞれに取組を推進してきましたが、今年度からのワーキンググループにおいても、これまでの取組を継承し、内容の充実・発展を図ることが求められることから、昨年度の活動について、説明します。</p> <p>まず、小学校教育課程部会においては、記載のねらいのもと、設定したゴールに向けて、5回の会議を通して、取組を推進してきました。成果と課題は、矢印で6点記載していますが、特に、小学校5校間における情報交流を通して、学習指導の統一を前進させたことと「砂川市立小学校『学習スタンダード』」の改訂版と保護者版を作成し、指導課程や持ち物等について、学校間や学校と家庭間でさらなる共通認識に立つことができたことは成果と言えます。また、本部会が核となり市内各校で行われる研究授業を配信し合い、互いに自校で授業参観できる環境も構築しました。結果として、ゴールとしたことは、いずれも達成し、取組を終えることができました。展望として、6点記載していますが、今年度からは、この取組内容を教</p>
-----	--

育課程ワーキンググループと研究推進ワーキンググループに引き継いでいくことになります。

次に、小学校連携事業部会ですが、記載したねらいのもと、ゴールに向けて、8回の会議を通して取組を推進してきました。事業として、合同遠足と5校交流会を計画通りに実施することができ、また、その内容も令和4年度からさらに進化・充実させたものにすることができました。結果として、ゴールとしたことは、ほぼ達成し、取組を終えることができました。展望として、1点記載していますが、今年度からは取り組み内容を学校連携ワーキンググループに引き継ぎます。

次に、小中連携事業部会ですが、記載のねらいのもと、設定したゴールに向けて、5回の会議を通して取組を推進してきました。成果と課題は、矢印で6点記載していますが、特に、家庭学習チャレンジ週間を全市的な取組として定着させることができた点、市内統一した家庭学習の手引きとキャリア・パスポートを作成することができた点が成果と言えます。結果として、ゴールとしたことは、いずれも達成し、取組を終えることができました。展望として、5点記載していますが、今年度からは取り組み内容を学校連携ワーキンググループに引き継ぎます。

最後に、施設建設部会ですが、記載のねらいのもと、5回の会議を通して、取組を推進し、基本設計を完成させることができました。

砂川市小中一貫教育推進計画に基づく小中一貫教育推進の年次計画は、先ほど説明しました小中一貫教育推進の年次計画から本年度重点として取り組むことをゴシック体で示しており、それぞれの中で赤字になっているものは各学校が主体的に取組を進めるもので、各校において、着実な推進をお願いします。また、青字は各ワーキンググループが、黒字は教育委員会がそれぞれ主体となって取り組むものとなっています。なお、チェックの付いている項目は、すでに前年度から取り組んでいるものとなっており、令和7年度が終わる段階で全ての項目にチェックが入るように取組が進められることを想定しています。

令和6年度取組の重点は、砂川市教育推進計画と令和6年度砂川市教育実践方針を踏まえ、先ほど説明しました小中一貫教育推進の年次計画で取り組むことを、さらに詳細に記載し、全ての学校で重点的に取り組んでいただくことをまとめたものになっています

議案に日程を掲載していますが、あくまで目安であり、各グループ長が構成員に確認をして設定することや会議場所は各グループ長が在籍する学校を基本とすることとしています。

今年度、各ワーキンググループが取り組む具体的内容について説明します。初めに、教育課程ワーキンググループですが、本ワーキンググループでは、教務的視点から義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地を作ることをねらいとし、各教科領域や総合的な学習の時間の教育課程や全体計画の作成、日課を確定させることなどに取り組み、義務教育学校開校時の教務系業務の7割を今年度中に整えることをゴールとします。作成したり、検討・決定したりすることは、7ページに記載しており、黒字は教育委員会事務局で作成し、ワーキンググループで検討してもらうものとして想定している内容であり、チェックが入っているものは、現段階で既に作成が終わっているものとなっています。また、展望に記載のとおり、本ワーキンググループは、作業量が膨大であることから作成を早めに行うも

のを明確にさせつつ、作業を計画的に進める必要があると考えています。会議は全9回を想定しており、それぞれの内容は記載のとおりです。8ページ以降は、これまで取り組んできた学習スタンダードの推進日程や学習スタンダードが資料として添付されています。

次に、研究推進ワーキンググループは、義務教育学校開校時からの校内研究がスムーズに推進できる素地を作ることをねらいとし、各教科の学習系統表を完成させたり、校内研究に係わる諸事項について協議・決定したりすることに取り組み、義務教育学校開校時の研修系業務の7割を今年度中に整えることをゴールとします。作成や検討・決定することは、記載のとおりです。本ワーキンググループでは、メインとして作成するものは、学習系統表のみとなることから教育課程ワーキンググループの業務の一部を担うことも想定しており、会議は全7回を想定しています。

次に、指導活動ワーキンググループは、義務教育学校開校時から安定した児童生徒指導や子ども達の主体的な活動がスムーズに推進できるよう生徒指導の基盤と学級活動・児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成することをねらいとし、校則や自転車通学のきまりを完成させたり、児童生徒会組織・児童生徒会活動や部活動体制について、検討・協議・決定したりすることに取り組み、義務教育学校開校時の指導系業務の7割を今年度中に整えることをゴールとします。作成したり、検討・決定したりすることは記載のとおりです。本ワーキンググループも教育課程ワーキンググループ同様に作業量は膨大であることから作成を早めに行うものを明確にさせつつ、作業を計画的に進める必要があると考えており、会議は全9回を想定しています。

次に、学校連携ワーキンググループは、中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流を持つことで児童の不安を解消することなど、4点をねらいとし、各種交流事業や家庭学習チャレンジ週間・乗り入れ授業に取り組むことを通して、アンケート結果等から記載の数値以上の結果を得ることをゴールとします。作成や検討・決定することは記載のとおりです。本ワーキンググループは、子ども達を動かすにあたっての教員間の打合せが特に重要だと考えており、事業実施日を除く会議は全8回を想定しています。16ページ以降につきましては、家庭学習チャレンジ週間に係わる参考資料となっています。

最後に、学校経営ワーキンググループは、義務教育学校開校に向けて、経営方針を定めたり、校内体制等の整備を進めたりすることを通して、円滑な学校運営を可能とさせることなど、2点をねらいとし、学校教育目標や目指す学校像の設定や学校経営方針の策定、申請加配の決定や校内人事体制について協議していただくこととしており、検討決定することは記載のとおりです。本ワーキンググループは、各ワーキンググループが作成するものの確認と修正に向けた指導・助言も行い、特に、学校経営計画とランドデザインは今年度中にある程度完成させることを目標とし、会議は、砂教研の学校経営部会を行う日を基本に全4回を想定しています。また、義務教育学校開校に向けて作業すべきことは多岐にわたり、5つのワーキンググループに属さない内容は、記載の組織に検討依頼することを想定しています。なお、昨年度は、各部会の活動を始める前に部会長となる教頭先生を集め、部会運営に係わる事前レクを行ってから活動を開始し、スムーズな取組ができたことから今年度も4月24日に同様の取組を行いました。

会長 質問等ありませんか。それでは、令和6年度の各ワーキンググループは説明のとおり進めていきます。

## 7. その他

(1) 令和7年度以降の砂川市小中一貫教育推進委員会のあり方について

### 【議事の内容（要旨）】

会長 続きまして、次第の7番、その他に移ります。(1)の「令和7年度以降の砂川市小中一貫教育推進委員会のあり方について」事務局より説明をお願いします。

事務局 今後、小中一貫教育を令和7年度に本格導入し、令和8年度に義務教育学校が開校した際に「小中一貫教育推進委員会はどうするのか」という内容になります。義務校が開校しても、小中一貫教育は継続・充実されていきますので、推進委員会は引き続き設置することが基本だと思いますが、例えば、体制について考えますと、現在の設置要綱では、各小中学校の校長先生・教頭先生と砂川高校の校長先生の13人をお願いしていますが、小中学校が1つになれば、3・4人の推進委員会になってしまうため、推進委員会に別の立場の人にも加わっていただく必要があるのではないかと思います。また、学校で小中一貫教育が実践されるということは、学校内で様々な検討・協議を踏まえて小中一貫教育が進められると思うので、「推進委員会はどのような役割を担うか」という課題もあるため、今後、令和7年度以降の推進委員会のあり方を検討したいと思います。

会長 次年度以降、特に、学校が統合された後の小中一貫教育推進委員会のあり方について、今後検討するという内容でしたが、質問等ありませんか。それでは、説明のとおり今後検討していくこととします。

以上で予定されていた案件は全て終了しましたが、皆さんから何か話し合っておきたいことなどありませんか。事務局、お願いします。

事務局 次回の日程ですが、ワーキンググループの取組状況を見ながら、後日、日程調整をさせていただきますので、ご協力をよろしくをお願いします。

会長 日程調整へのご協力をよろしくをお願いします。それでは、以上を持ちまして、第1回砂川市小中一貫教育推進委員会を閉会させていただきます。皆さん、大変お疲れ様でした。

以 上